

埴町タクシー利用料金助成制度モニターの 利用状況及びアンケート調査結果

報告書



2019年1月

埴町地域公共交通活性化協議会
株式会社ケー・シー・エス東北支社

埜町タクシー利用料金助成制度モニターの利用状況及び
アンケート調査結果
報告書

- 目次 -

1. 調査の概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査対象	1
1-3 調査方法	1
1-4 調査項目の設定	2
1-5 モニター登録・アンケート回収状況.....	5
2. タクシー料金助成制度のモニター利用状況	6
2-1 モニター登録状況.....	6
2-2 助成制度利用状況	7
2-3 居住地区別にみるモニター登録・助成制度利用状況	10
2-4 助成制度利用時の乗降場所（OD表）	14
3. アンケート調査結果	15
3-1 モニター回答によるアンケート結果（単純集計結果）	15

1. 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、タクシー利用料金補助制度のニーズを見極めるため、町民から募集されたモニターを対象に外出状況の変化や将来の利用意向等を把握するアンケート実施した。調査結果は、今後のタクシー利用料金補助制度の継続展開を検討する上での基礎資料とする。

【参考：タクシー利用料金助成制度のモニター概要】

埜町地域公共交通活性化協議会では、高齢者の方を中心とする「移動制約者」の支援のため、800円を超えたタクシー運賃を助成する制度の試験運行を実施。

■モニター対象者

- ・高城地区（台宿一区・台宿二区・稲沢区・伊香区・植田区・真名畑区）にお住いの①～③のいずれかに該当する方が対象。
 - ①65歳以上の方（運転免許証がある方でも可）
 - ②運転免許自主返納者（又は、検討中の方）
 - ③身体的事情等で運転できない方

■実施期間

- ・平成30年9月1日（土）～11月30日（金）の3ヶ月間

■利用方法

- ・交付を受けたモニターが利用券を渡して乗車すると、乗車運賃の800円を超えた分を協議会が助成する（利用者負担は800円）。乗車運賃が800円以下の場合は全額自己負担。
- ・例えば乗車運賃が1,410円だった場合、800円が自己負担となり、610円を協議会から助成。
- ・助成方法は、800円から超過した分を後日協議会がタクシー会社へ直接支払い。

■利用条件

- ・実施期間終了後、アンケートに協力要請。
- ・利用区間は埜町内に限る。
- ・利用時間は、午前7時から午後9時まで。
- ・3ヶ月で12回まで利用可能。
- ・タクシーの目的地での待機は不可。
- ・本人以外の使用は不可（同乗は可）。
- ・利用券の譲渡は禁止。

1-2 調査対象

本調査では、タクシー利用料金補助制度にモニター登録された方すべてを対象とした。

1-3 調査方法

調査実施方法は、「郵送配布・郵送回収」形式とし、配布時に返信用封筒を同封した。また、調査票はモニター登録者台帳を活用し、送付している。

1-4 調査項目の設定

調査項目の設定にあたっては、質問の目的と、質問によって収集されたデータを本制度に反映する場合、どのような点を反映し見直し検討するかを整理し、設定した。

調査項目とその目的、反映想定は以下のとおり。

表 1-1 調査項目一覧表（目的・反映想定）

設問	目的	反映想定
【問 1】 タクシーモニターに登録した理由は何ですか。（複数回答）	利用者層の把握	利用者層の把握による、制度対象者の設定
【問 1-1】 上記の理由以外にも、タクシーモニターに登録した理由があれば、それは何ですか。（複数回答）	利用者の現状と問題の把握	タクシー以外の公共交通利用への転向傾向把握による、制度外での公共交通利用の促進検討（路線バスと一般タクシー乗り継ぎによる移動モデルの紹介等、利用券活用時以外の移動手段確保）
【問 2】 本制度はどんな目的で登録しましたか。（複数回答）	利用目的の把握	利用目的の把握による、移動エリアの設定の検討（移動エリアを「自宅⇔町内どこでも」以外の「自宅⇔制度で設定した移動施設」などの可能性の検討）
【問 3】 実際にタクシー運賃補助を利用しましたか。（単一回答） また、利用しなかった方は、理由もお答えください。（単一回答・記述回答）	登録数と利用数の差違と、利用に至らなかった理由の把握	本当に必要としている利用者層の特定と制度見直しの検討
【問 4】 本制度は誰かと乗り合って利用しましたか。（単一回答）	乗り合い利用状況の詳細確認	乗り合い利用の促進方法の検討
【問 5】 タクシーの自己負担金 800 円について、どのように感じましたか。（単一回答）	自己負担金額の価格と利用上限回数に対する適正評価	自己負担金額と利用上限回数のバランスの検討
【問 6】 本補助制度を利用して、日常生活にどんな変化がありましたか。（単一回答）	本実証実験による行動変容の把握	効果検証による評価の設定と本格運行の検討指標
【問 7】 本制度の利用後、運転免許証返納へのお考えはどうなりましたか。（単一回答）	本実証実験による行動変容の詳細把握（運転免許証の返納）	運転免許証返納検討者に対する制度対象者の設定と、効果検証による評価の設定
【問 7】の選択肢を選んだ理由 （記述回答）	行動変容の理由の把握	ネガティブ要素への対策方法の検討
【問 8】 本制度について、本格化された場合、今後も利用したいですか。（単一回答・記述回答）	今後の利用意向	本格運行に向けた需要確認
【問 9】 今回のタクシー運賃補助や公共交通について、ご意見がございましたらご記入ください。（記述回答）	登録者の所感や考えの把握	上記設定項目以外の情報等が確認された場合、本制度の検討項目として加味

埴町 タクシー利用料金助成制度に関するアンケート調査

この度は埴町タクシー利用料金助成制度のモニターにご登録いただきまして、誠にありがとうございました。本制度の効果検証のため、以下のアンケートにご協力ください。本アンケート用紙は、一緒に配布された返信用封筒（切手不要）に入れ、12月19日までに郵便ポストへ投函してください。
平成30年12月 埴町まち振興課

以下、問2まで、あてはまるものについていくつでも☑をつけてください。

【問1】 今回のモニターに登録した理由は何ですか。

- 65歳以上は登録可能だったからとりあえず登録した
- 運転免許証を返納した（または返納を検討している）から登録した
- 身体的事情等で運転できないから
- 運転免許証を持っていないから

【問1-1】 上記の理由以外にも、今回のモニターに登録した理由があれば、それは何ですか。

- 自家用車の運転に自信がなくなったから
- 運転免許証を返納した（または返納を検討している）から
- バスの時刻や料金、使い方がわからないから
- バスよりも安く埴町中心部などに行けるから
- バスを使うこともあるが、バス時刻が合わないため、タクシーの方が便利だから
- バスなどに乗り換えなくても埴町内を移動できるから
- 普段からタクシーを利用していたから

【問2】 タクシー補助制度はどんな目的で登録しましたか。

- 通院 買物 私用 余暇・観光
- その他（その他内容：_____）

以下、次の設問からは、当てはまるものについて1つだけ☑をつけてください。

【問3】 実際にタクシー補助を利用しましたか。利用しなかった方は、理由もお答えください。

- 登録もして、実際に利用した
- 登録はしたが、実際には1度も利用しなかった
（利用しなかった理由：
 - やはり自家用車を運転することを選んでしまうから
 - 体調不良や、身体を壊してしまい利用する機会がなかったから
 - その他（その他内容：_____）

【問4】 タクシー補助制度は誰かと乗り合って利用しましたか。

- 家族と乗り合った 近所の人や友人を誘って乗り合った
- たまたま同じ場所にいた人と乗り合った 一人で利用し、誰とも乗り合わなかった
- 登録したが利用しなかった

【問5】 タクシーの自己負担金800円について、どのように感じましたか。

（参考：各地区から埴駅周辺まで、一般タクシーを利用した場合の片道メーター最長料金（昼間）
伊香地区 約2,100円、植田地区 約4,600円、真名畑地区約5,600円、台宿地区 約1,400円）

- 800円よりも高くてもいいので、1か月あたりに使える回数を増やして使いたい
- 800円であれば適正価格であり、回数もちょうどよい
- 800円よりも安く使いたいので、1ヶ月あたりに使える回数が少なくても仕方がない
- その他（その他内容：_____）

ウラへ続く⇒

【問6】 タクシー補助制度を利用して、日常生活にどんな変化がありましたか。

質問内容	選択肢（各質問1つだけ☑）	
買物の頻度	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない	<input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> 登録したが利用していない
余暇の頻度	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない	<input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> 登録したが利用していない
その他の 外出の頻度	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない	<input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> 登録したが利用していない
1か月の 交通費	<input type="checkbox"/> かかるようになった <input type="checkbox"/> 変わらない	<input type="checkbox"/> 少なく済んだ <input type="checkbox"/> 登録したが利用していない
モニター補助なしでの タクシー利用の頻度	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない	<input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> 登録したが利用していない
路線バスの 利用頻度	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない	<input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> 登録したが利用していない
同行者の有無	<input type="checkbox"/> 誰かと出かけるようになった <input type="checkbox"/> 変わらない	<input type="checkbox"/> ひとりで出かけるようになった <input type="checkbox"/> 登録したが利用していない
家族や友人への 送迎依頼の頻度	<input type="checkbox"/> 頼む回数が増えた <input type="checkbox"/> 変わらない	<input type="checkbox"/> 頼む回数が減った <input type="checkbox"/> 登録したが利用していない
その他何か変化がありましたらお書きください。		

【問7】 タクシー補助制度の利用後、運転免許証返納へのお考えはどうになりましたか。理由もお答えください。

- 利用する前から、返納するつもりであり、現在は一層そう思うようになった
- 利用する前から、返納するつもりだったが、現在は返納をしなくなった
- 利用する前は、返納するつもりはなかったが、現在は検討するようになった
- 利用する前から、返納するつもりはなく、現在も返納をするつもりはない
- ※すでに運転免許証を返納した
- ※そもそも運転免許証を持っていない

【上記選択肢を選んだ理由】

※「すでに運転免許証を返納した」、「運転免許証をそもそも持っていない」を選んだ方は、無記入のまま次の設問【問8】へ進んでください。

【問8】 タクシー補助制度について、本格化された場合、今後も利用したいですか。

「利用したくない」を選んだ方は、理由もお教えてください。

<input type="checkbox"/> 今後も利用したい <input type="checkbox"/> 上記【問7】で選んだ内容が見直されたら、今後も使いたい <input type="checkbox"/> 今後はもう利用するつもりはない ⇒（利用しない理由： <input type="checkbox"/> やはり自家用車を運転することを選んでしまうから <input type="checkbox"/> 体調不良や、身体を壊してしまい利用する機会がなさそうだから <input type="checkbox"/> その他（その他内容： _____）

【問9】 今回のタクシー補助制度や公共交通について、ご意見がございましたらご記入ください。

--

以上でアンケートは終了です。ご協力、誠にありがとうございました。

1 - 5 モニター登録・アンケート回収状況

モニター登録者数とアンケートの回収状況は以下のとおり。

表 1 - 2 モニター登録者数及びアンケート回収率

モニター登録者数	アンケート回収数	アンケート回収率
78 人	50 枚	64.1%

2. タクシー料金助成制度のモニター利用状況

2-1 モニター登録状況

- ・モニター登録者は申し込みがあった78人となっている。モニター登録者の属性は以下のとおり。
- ・登録者の性別は「男性」が24.4%（19人）、「女性」が75.6%（59人）。
- ・登録者の年齢は80代が多く5割を占める。
- ・登録者の該当要件は「65歳以上」が最も多く65件、次いで「身体的事情等で運転できない者」が12件、「運転免許証自主返納者」が11件。
- ・登録者の申請方法は「自主申請」が65.4%（51人）、「代理申請」が34.6%（27人）。

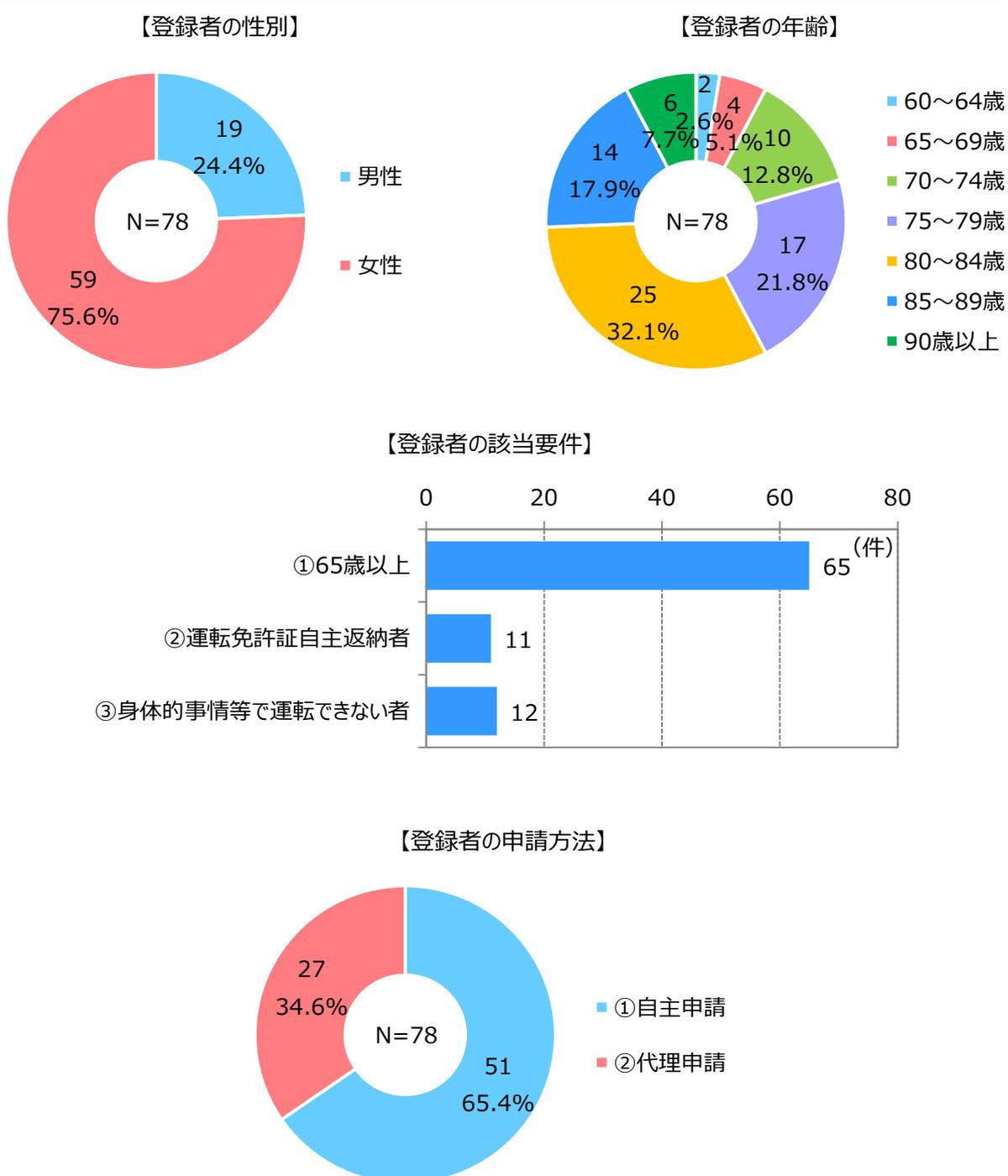


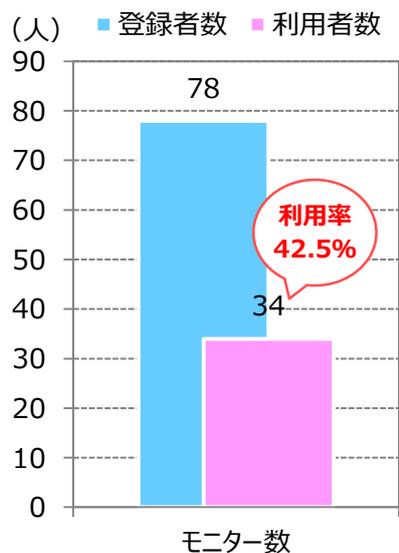
図2-1 モニター登録者の属性

2-2 助成制度利用状況

(1) 助成制度の利用率について

- ・ モニター登録者数から見える利用率は 42.5%。(モニター登録者数 78 人中、助成制度を 1 回以上利用したモニター登録者数が 34 人となっている。)
- ・ モニター登録者数 1 人につき 12 枚配られている利用券から見える利用率は 14.3%。(利用券全 936 枚中、実際に使用された利用券は 137 枚となっている。)
- ・ モニター登録者数のうち助成制度を利用されなかった方は約 6 割となっており、さらに約 8 割以上の利用券が使用されていない。
- ・ また、期間中に 12 枚全て使い切ったモニターは 2 人のみとなっている。

【モニター数から見る利用率】



【利用券から見る利用率】



図 2-2 タクシー利用金助成制度の利用率

(2) 月別利用回数

- ・ 利用回数は月に 40 回以上となっており、1 日あたり利用回数は全体で 1.51 回となっている。
- ・ 1 回あたり乗車人数は徐々に増加しており、11 月には 1.43 人となっている。

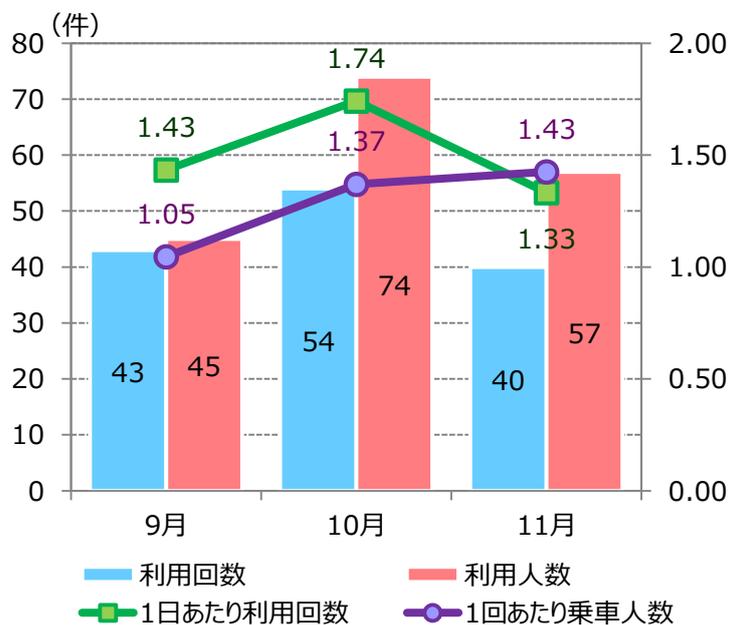


図 2-3 月別利用回数

(3) 月別の利用されている時間帯

- ・ 9月は「昼前(9～11 時台)」の利用が最も多く70件、次いで「昼過ぎ(12～14 時台)」が34件。
- ・ 10月は「昼前(9～11 時台)」の利用が最も多く68件、次いで「朝方(6～8 時台)」が58件。
- ・ 11月は「朝方(6～8 時台)」の利用が最も多く39件、次いで「昼前(9～11 時台)」が35件。
- ・ 午前中の利用が多く、午後の利用は少ない。特に夜の利用は各月1件のみとなっている。

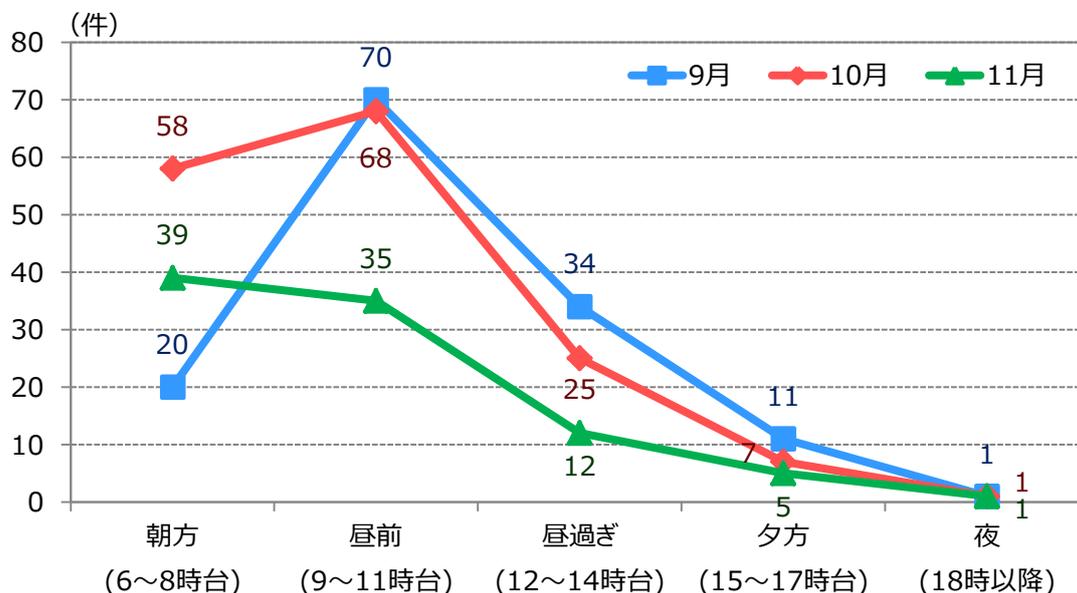


図 2 - 4 月別の利用されている時間帯

(4) タクシー運賃及び助成金額の割合

- ・ モニター登録者が利用した実際のタクシー運賃の割合をみると、「2,000 円以上 2,500 円未満」が最も多く 36.5% (50 件) 、次いで「1,000 円以上 1,500 円未満」が 19.7% (27 件) となっている。タクシー運賃の割合は 2,000 円以上が 6 割を占めている。
- ・ また、協議会が支払う助成金額の割合をみると、「1,500 円以上 2,000 円未満」が最も多く 42.3% (58 件) 、次いで「1,000 円未満」が 39.4% (54 件) となっている。

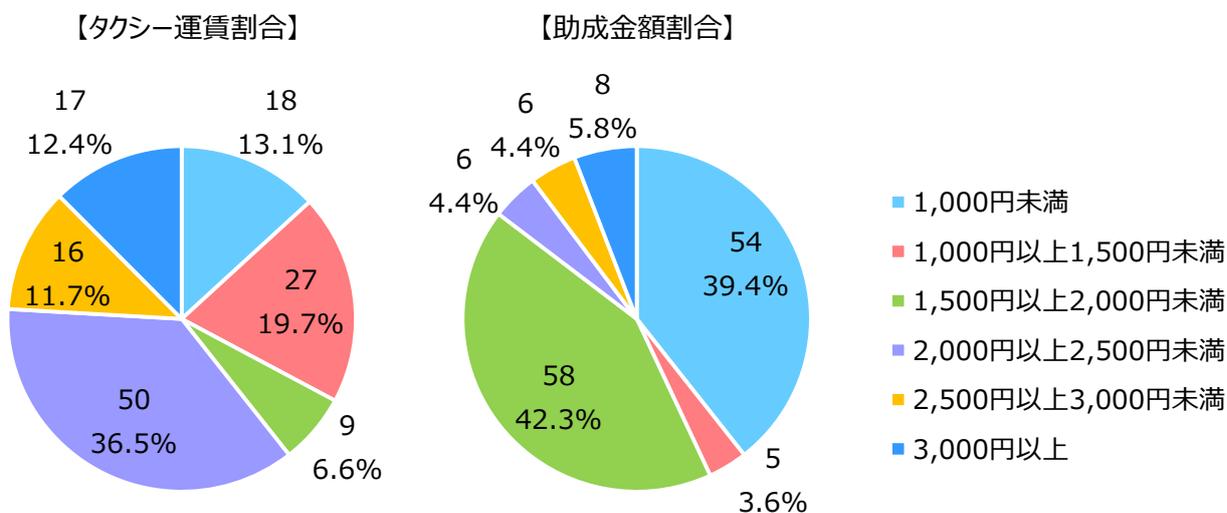


図 2 - 5 タクシー運賃及び助成金額の割合

(5) 月別利用金額

・ 助成制度を利用している月別利用金額は、各月 8 万円以上となっており、そのうちの約 6 割が助成金額、約 4 割が利用者負担額となっている。

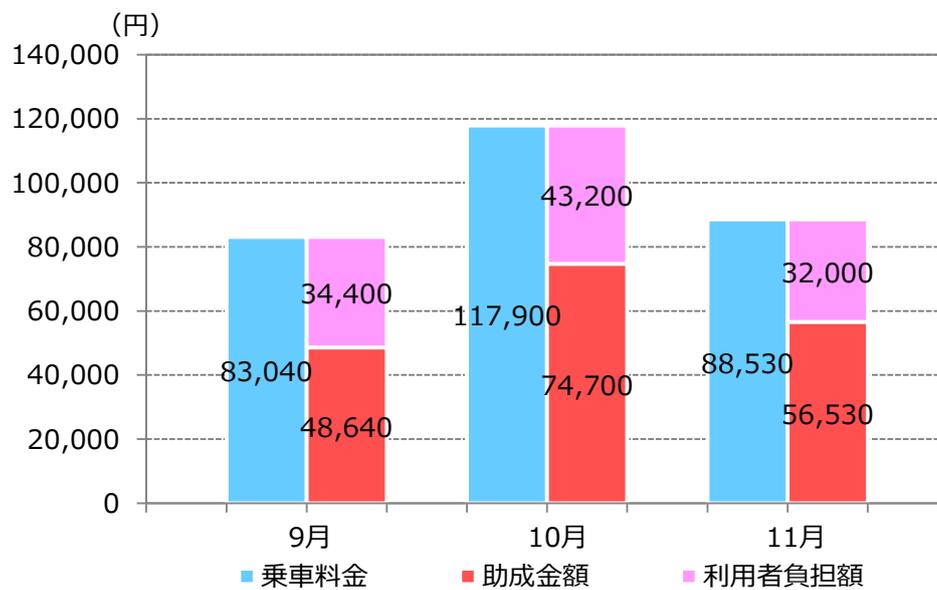


図 2 - 6 月別利用金額

2-3 居住地区別にみるモニター登録・助成制度利用状況

(1) 居住地区別の登録者数

- ・ 居住地区別の登録者数は、「植田区」が最も多く46.2%（36人）、次いで「伊香区」が21.8%（17人）、「真名畑区」が19.2%（15人）となっている。

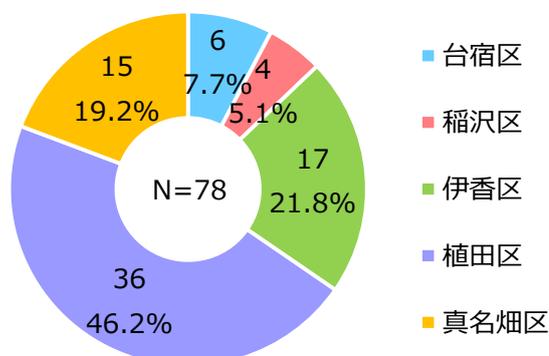


図 2-7 地区別の登録者数

(2) 居住地区別の月別利用回数

- ・ 居住地区別の月別利用回数は、植田地区の10月が最も多く27件。
- ・ その他の地区では、台宿区で10・11月、稲沢区と伊香区で9月、真名畑区で10月が多くなっている。

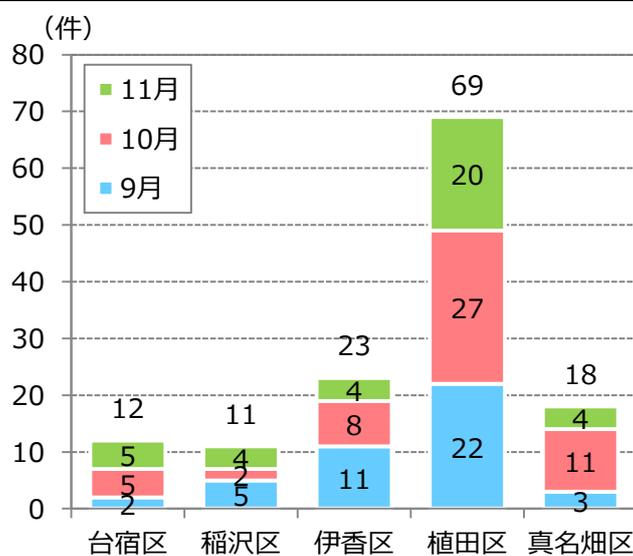


図 2-8 居住地区別の月別利用回数

(3) 居住地区別のタクシー運賃及び助成金額の割合

- ・ 台宿区に居住しているモニター登録者が利用した実際のタクシー運賃の割合をみると、「800 円超 1,000 円未満」が最も多く 83.3%（10 件）、次いで「1,500 円以上 2,000 円未満」が 16.7%（2 件）となっている。また、協議会が支払う助成金額は 1,000 円未満が 10 割となっている。
- ・ 稲沢区に居住しているモニター登録者が利用した実際のタクシー運賃の割合をみると、「800 円超 1,000 円未満」が最も多く 72.7%（8 件）、次いで「1,000 円以上 1,500 円未満」が 27.3%（3 件）となっている。また、協議会が支払う助成金額は 1,000 円未満が 10 割となっている。
- ・ 伊香区に居住しているモニター登録者が利用した実際のタクシー運賃の割合をみると、「1,000 円以上 1,500 円未満」が最も多く 82.6%（19 件）、次いで「1,500 円以上 2,000 円未満」が 17.4%（4 件）となっている。また、協議会が支払う助成金額は 1,000 円未満が 10 割となっている。
- ・ 植田区に居住しているモニター登録者が利用した実際のタクシー運賃の割合をみると、「2,000 円以上 2,500 円未満」が最も多く 69.6%（48 件）、次いで「2,500 円以上 3,000 円未満」が 23.2%（16 件）となっている。また、協議会が支払う助成金額は 2,000 円未満が 9 割占めている。
- ・ 真名畑区に居住しているモニター登録者が利用した実際のタクシー運賃の割合をみると、「3,000 円以上」が最も多く 55.6%（10 件）、次いで「1,000 円以上 1,500 円未満」が 27.8%（5 件）となっている。また、協議会が支払う助成金額は 1,000 円未満が 5 割を占めている。



図 2 - 9 台宿区のタクシー運賃及び助成金額の割合



図 2 - 10 稲沢区のタクシー運賃及び助成金額の割合

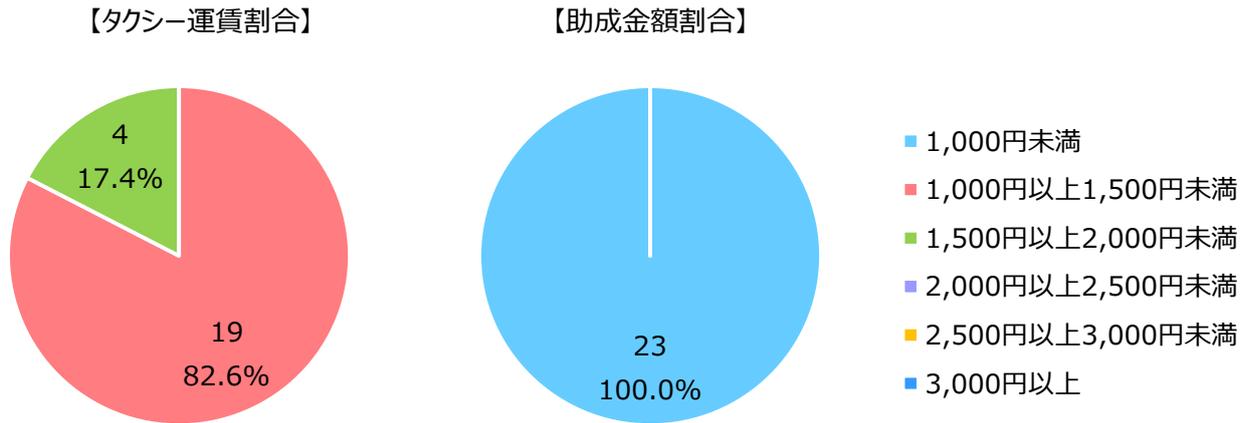


図2-11 伊香区のタクシー運賃及び助成金額の割合

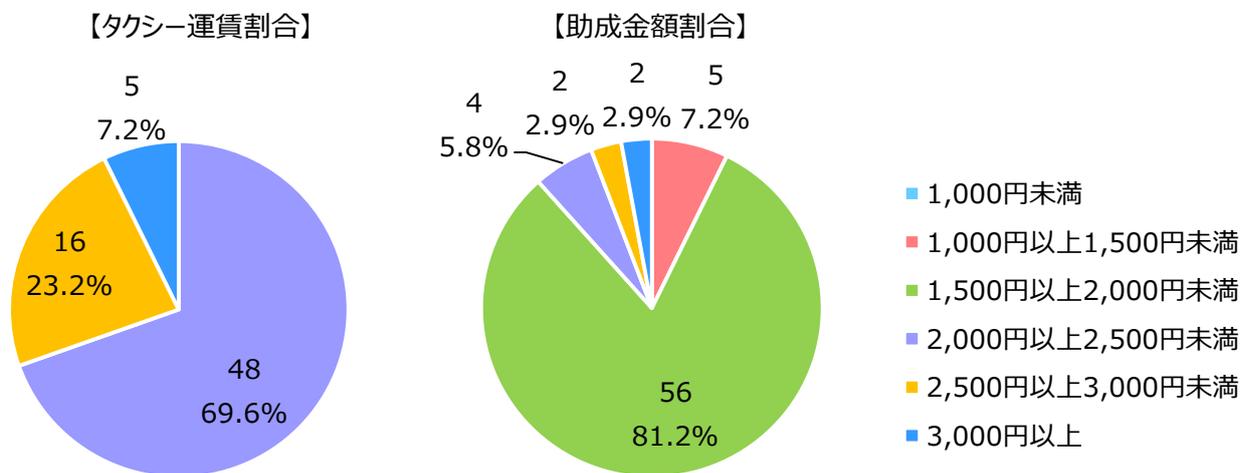


図2-12 植田区のタクシー運賃及び助成金額の割合

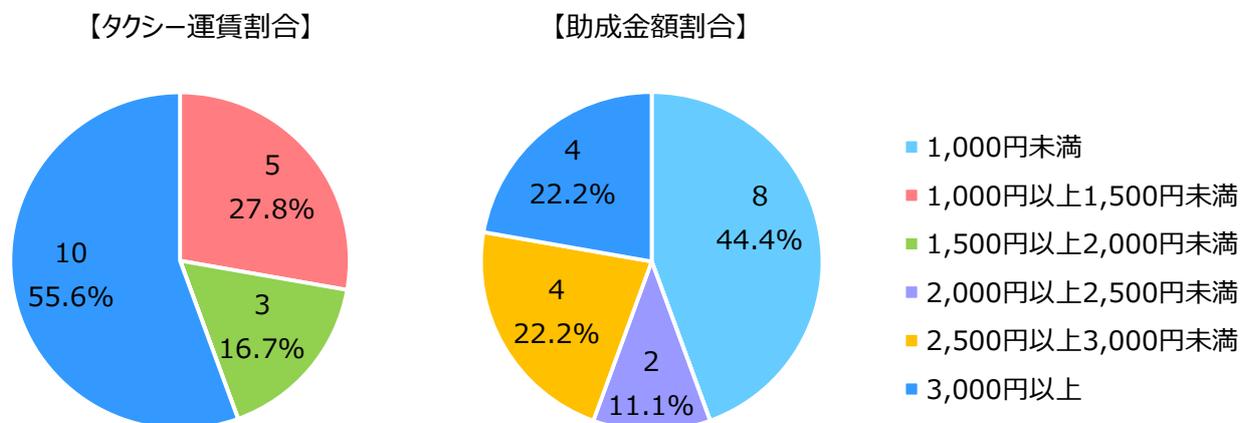


図2-13 真名畑区のタクシー運賃及び助成金額の割合

(4) 居住地区別の利用金額

- ・ 台宿区に居住しているモニター登録者の助成制度を利用した金額は、約 1 万 3 千円となっており、そのうちの約 2 割が助成金額、約 8 割が利用者負担額となっている。
- ・ 稲沢区に居住しているモニター登録者の助成制度を利用した金額は、約 1 万円となっており、そのうちの約 2 割が助成金額、約 8 割が利用者負担額となっている。
- ・ 伊香区に居住しているモニター登録者の助成制度を利用した金額は、約 3 万 1 千円となっており、そのうちの約 4 割が助成金額、約 6 割が利用者負担額となっている。
- ・ 植田区に居住しているモニター登録者の助成制度を利用した金額は、約 17 万 6 千円となっており、そのうちの約 7 割が助成金額、約 3 割が利用者負担額となっている。
- ・ 真名畑区に居住しているモニター登録者の助成制度を利用した金額は、約 4 万 7 千円となっており、そのうちの約 7 割が助成金額、約 3 割が利用者負担額となっている。
- ・ 植田区と真名畑区では利用者負担額を助成金額が上回っている。

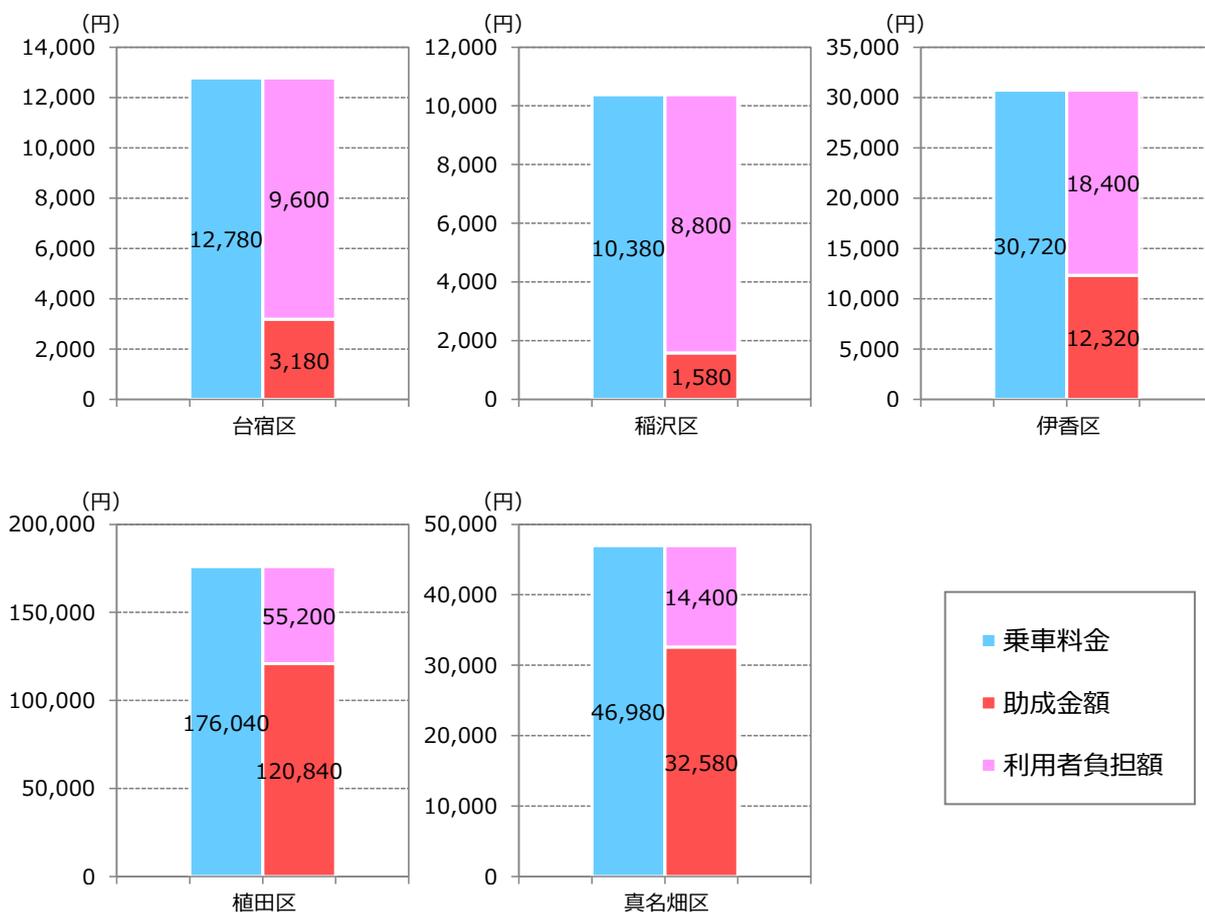


図 2 - 1 4 居住地区別の利用金額

2-4 助成制度利用時の乗降場所（OD表）

(1) 地区別OD表

- ・ 地区別でOD表をみると「高城地区」から「埴地区」間の移動が最も多く、「埴地区」を目的地とした移動は49件、「高城地区」を目的地とした移動は79件みられた。
- ・ また、高城地区内での移動及び、笹原地区・常豊地区への移動はあまりみられなかった。

乗車 \ 降車	高城	埴	笹原	常豊
高城	3	49	2	1
埴	79			
笹原	2			
常豊	1			

図2-15 地区別OD表

(2) 乗降車場所別OD表

- ・ 乗降車場所別でOD表をみると、乗車場所は「埴厚生病院」が最も多く22件、降車場所は「坂ノ下」が最も多く27件、次いで「稲沢」が21件となっている。
- ・ 自宅から目的地への移動よりも、目的地から帰宅する際の利用が多い。

乗車 \ 降車	高城											埴														笹原		常豊	合計									
	台宿	稲沢	伊香	桶田	真名畑	下川原	中沢	桶田喜平太郎	坂ノ下	又六	下桶田	埴厚生病院	大町	材木町	かなざわ歯科	エコス	車庫	リオンドール	本町	笹城塚駅	つちやクリニック	中島医院	福祉会館	道の駅はなわ	埴町公民館	さくら薬局	埴郵便局	大田屋埴茶場～桶田		白河信用金庫埴支店	胡桃下	穂積歯科医院	湯道ランドはなわ	湯岐	梨子本			
台宿				1																																	1	
稲沢																																					1	2
伊香												4	7	1						2																	17	
桶田												2									3		1		1				1							10		
真名畑																																						
下川原											1																										1	
中沢													1																								1	
桶田喜平太郎																																						
坂ノ下											1	2	6	1						1	2															1	14	
又六												2																									9	
下桶田																																						
埴厚生病院			7	2	1	3		1	4	2	2																										22	
大町			5	3		3						6																									17	
材木町				2	1	2						8																									13	
かなざわ歯科														1																							1	
エコス																																					6	
車庫																																					5	
リオンドール																																					4	
本町																																					3	
笹城塚駅																																					1	
つちやクリニック																																						
中島医院																																					2	
福祉会館																																						1
道の駅はなわ																																					1	
埴町公民館																																					1	
さくら薬局																																					1	
埴郵便局																																					1	
大田屋埴茶場～桶田																																						
白河信用金庫埴支店																																						
胡桃下																																						
穂積歯科医院																																						
湯道ランドはなわ																																					1	
湯岐																																					1	
常豊 梨子本																																					1	
合計		21	14	5	11	1		1	27	3	2	11	13	2	7					3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	137		

図2-16 乗降車場所別OD表

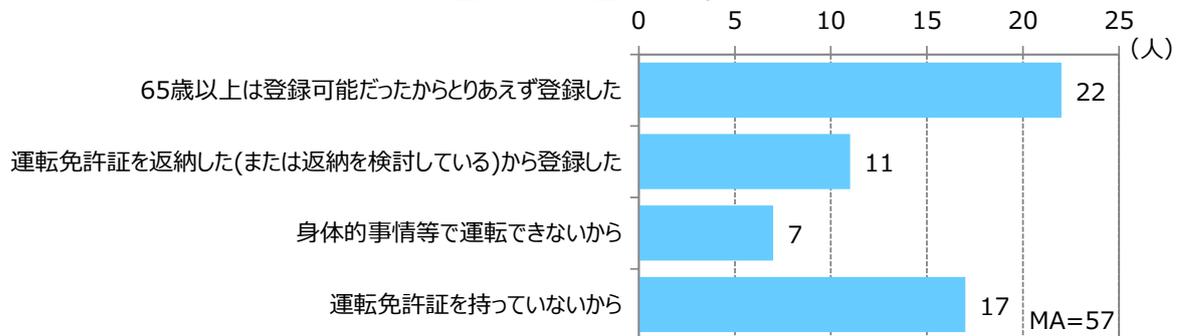
3. アンケート調査結果

3-1 モニター回答によるアンケート結果（単純集計結果）

(1) 問1. 今回のモニターに登録した理由

- ・ モニター登録理由は「65歳以上は登録可能だったからとりあえず登録した」が最も多く22人、次いで「運転免許証を持っていないから」が17人。
- ・ 上記以外の登録理由では「バスを使うこともあるが、バス時刻が合わないため、タクシーの方が便利だから」が最も多く11人、次いで「バスなどに乗り換えなくても塙町内を移動できるから」が9人となっている。
- ・ 登録理由からみえる登録者層は、65歳以上の運転免許証を持っていない方が主となっており、その中でもバスでの移動に抵抗がある方が多い。

【モニター登録理由（登録要件）】



【要件以外での登録理由】

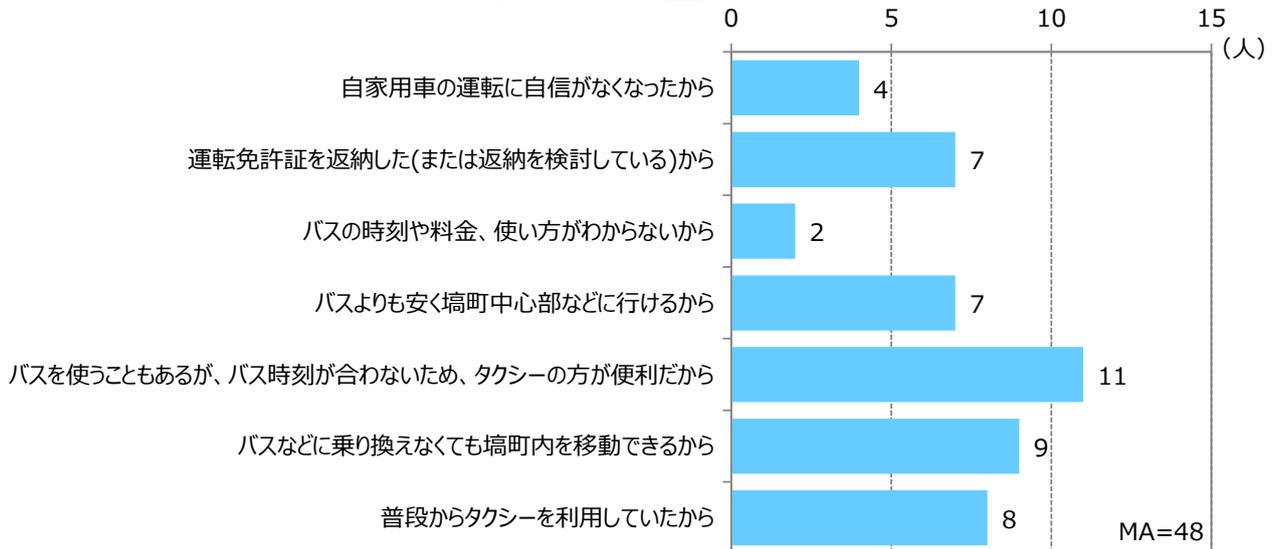


図3-1 モニターに登録した理由

(2) 問2. タクシー補助制度に登録した主な目的

- ・ 主な目的は「通院」が最も多く32人、次いで「買物」が12人。
- ・ その他は「銀行・郵便局」「老人クラブの行事」などの回答がみられた。
- ・ 病院や商業施設など特定の施設への移動する目的の方が多くみられた。

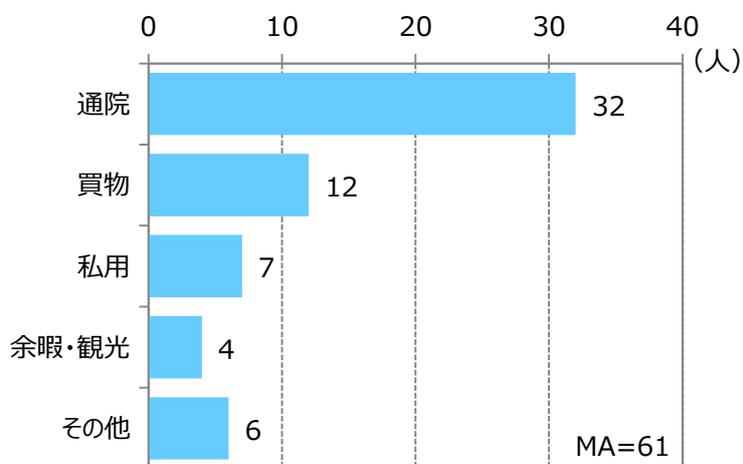


図3-2 主な目的

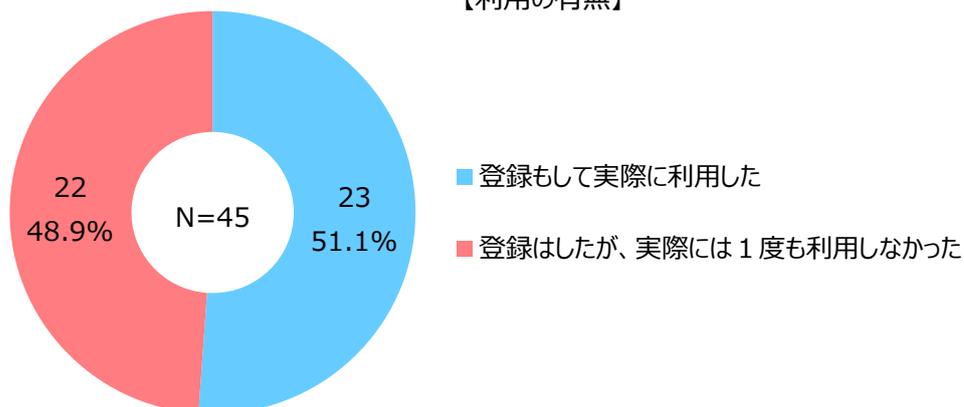
表3-1 その他の目的

	その他内容
1	銀行、郵便局等
2	老人クラブの行事等に利用したい
3	健康面で、運転不可能になった時に利用したいから。
4	身体障害者で目が悪く見えにくいので病院の時タクシーを利用している。
5	友人と湯遊ランドへ行くことを考えたが、参加する人数が多かったので、施設の車が送迎してくれた。

(3) 問3. タクシー補助制度利用の有無と利用しなかった場合の理由

- ・ 利用の有無は「登録もして実際に利用した」が51.1%（23人）、「登録はしたが、実際には1度も利用しなかった」が48.9%（22人）となっており、登録者の約半数が利用していない。
- ・ 利用しなかった理由は「やはり自家用車を運転することを選んでしまうから」が36.4%（8人）、「体調不良や、身体を壊してしまい利用する機会がなかったから」が9.1%（2人）。
- ・ その他の利用しなかった理由は「利用する機会がなかった」「家族に送迎してもらった」「利用範囲が町内だけだったため」「自己負担が分かりづらい」などの回答がみられた。
- ・ また、利用しなかった方の半数以上は免許所持者となっている。

【利用の有無】



【利用しなかった理由】

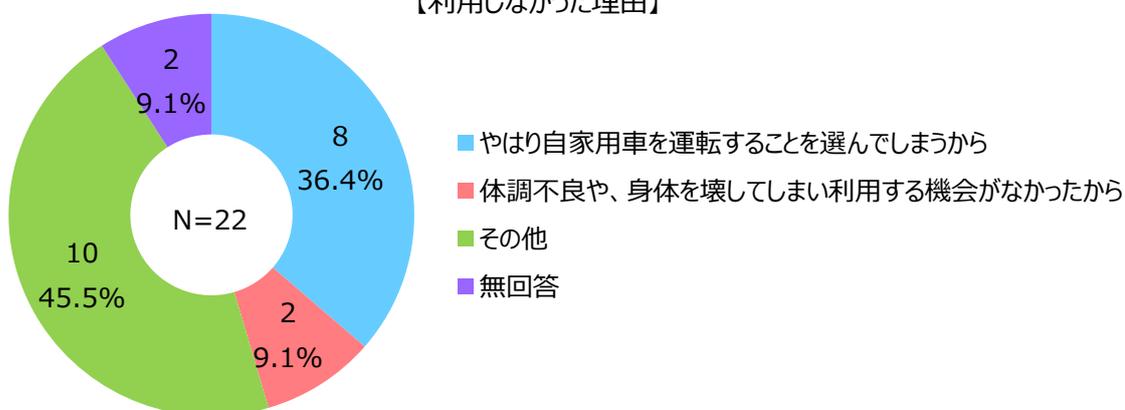


図3-3 利用の有無と利用しなかった理由

表3-2 その他の利用しなかった理由

	その他内容
1	利用する機会がなかったから
2	時期が合わなかった
3	家族の送迎
4	通院した時、家族で対応できたから
5	高齢で家族が付き添うため
7	晴れた日に自転車ですできるだけ用事を済ますようにした
8	町内限定のため利用しなかった（東白川郡内にしてほしい）
9	自己負担がよくわからなかったからもう少しわかりやすく教えてください。

(4) 問4. タクシー補助制度を利用する際に乗合利用をしたか

- ・乗合利用の有無は「一人で利用し、誰とも乗り合わなかった」が最も多く 35.7% (15 人)、次いで「家族と乗り合った」が 21.4% (9 人)。
- ・一人での利用が多く、乗合利用は 3 割以下となっている。

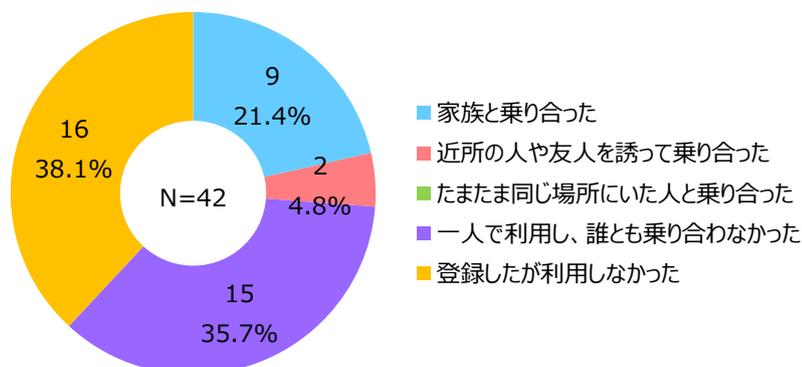


図 3-4 乗合利用の有無

(5) 問5. 自己負担金 800 円についての考え方

- ・自己負担金についての考え方は「800 円であれば適正価格であり、回数もちょうどよい」が最も多く 61.5% (24 人)、次いで「800 円より高くてもいいので、1 か月あたりに使える回数を増やして使いたい」が 15.45 (6 人)。
- ・自己負担金 800 円と利用回数のバランスに満足している方が 6 割を占める。
- ・その他は「普通の片道料金より安いので助かる」「飲み会や忘新年会等があれば利用した」などの回答がみられた。

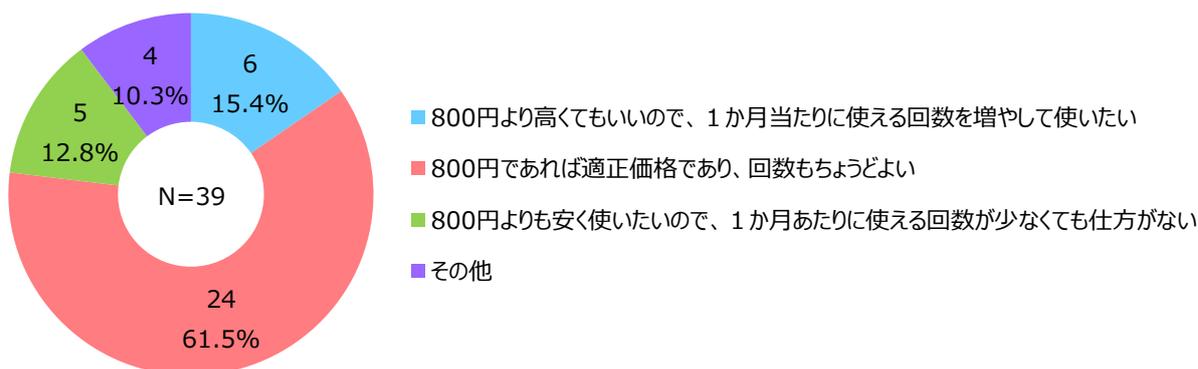


図 3-5 自己負担金についての考え方

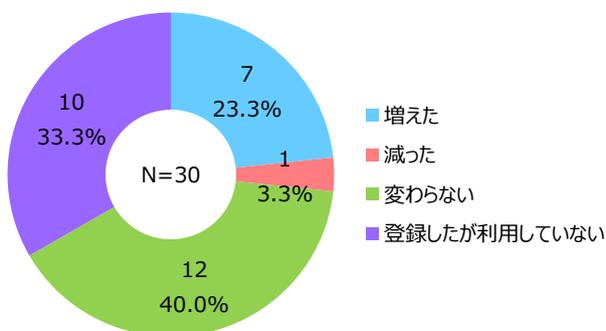
表 3-3 その他の考え方

	その他内容
1	普通片道 2,500 円なので、片道 800 円は助かります。
2	忘年会・新年会シーズンであれば利用する
3	台宿は料金が低いので利用するとなると考えてしまった。(相乗りする用事もなかった。12 月の飲み会がある場合は利用したと思う)

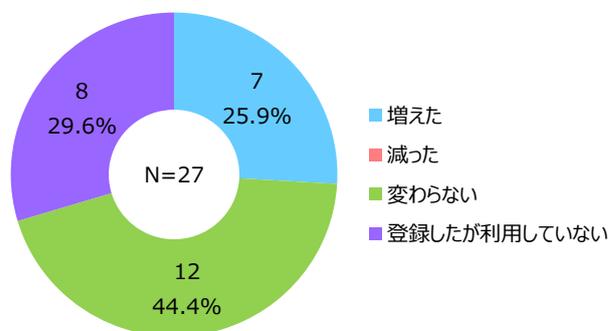
(6) 問6. タクシー補助制度を利用した際の日常生活の変化

- ・ 買物、余暇、その他の目的での外出頻度は「変わらない」と回答された方が最も多く、4割を占める。また、「増えた」との回答もみられ、2割以上を占めている。
- ・ 2か月にかかる交通費は「少なく済んだ」が最も多く42.9%（12人）。
- ・ 補助制度を利用しないタクシーの利用頻度は「変わらない」が最も多く40.7%（11人）、次いで「増えた」が18.5%（5人）、「減った」が11.1%（3人）。
- ・ 路線バスの利用頻度は「変わらない」が最も多く37.0%（10人）、次いで「減った」が22.2%（6人）。「増えた」と回答された方はみられなかった。
- ・ 同行者の有無は「変わらない」が最も多く37.0%（10人）。「誰かと出かけるようになった」と「ひとりで出かけるようになった」が14.8%（4人）となっている。
- ・ 家族や友人へ送迎依頼をする頻度は「頼む回数が減った」と「変わらない」が最も多く25.9%（7人）、次いで「頼む回数が増えた」が14.8%（4人）。
- ・ その他の変化は「今後はタクシーを利用する」「タクシー券が大変便利だった」「利用期間年末までにしてほしかった」などの回答がみられた。
- ・ 目的別の利用頻度が変わらず、路線バスの利用頻度が変わらないまたは減ったことから、普段の生活移動を、タクシー補助制度を利用した移動に置換していることが分かる。
- ・ また、目的別の利用頻度や補助制度を利用しないタクシーの利用頻度、家族や友人へ送迎を依頼する頻度が一部増えたと回答されていることから、外出意欲の向上がみられた。

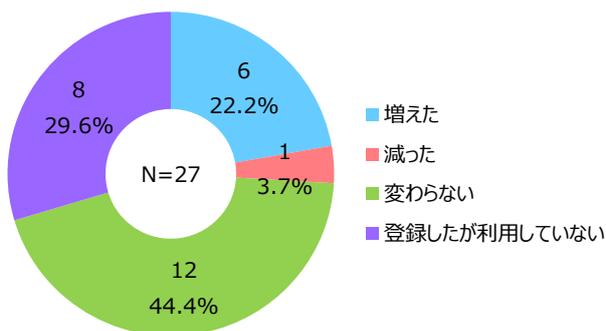
【買物目的での外出頻度】



【余暇目的での外出頻度】



【その他の目的での外出頻度】



【1か月にかかる交通費】

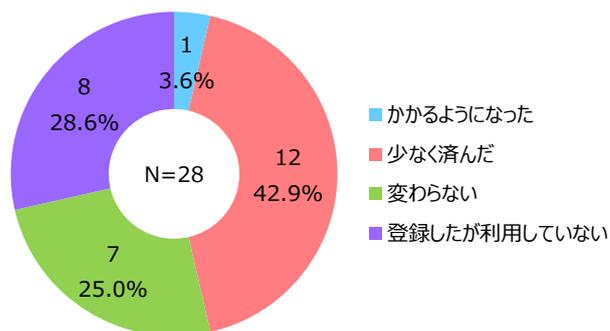
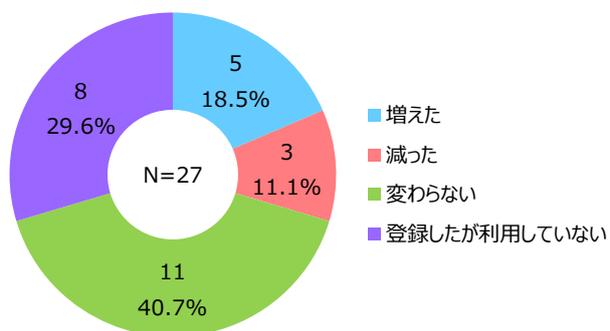
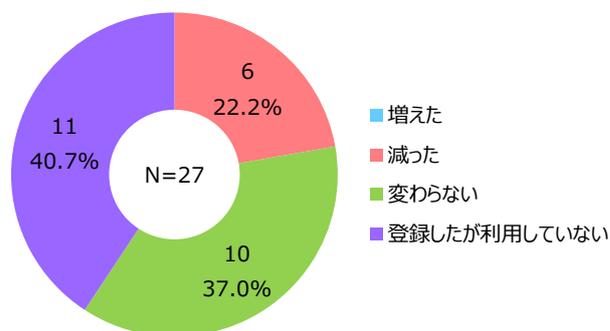


図3-6 日常生活の変化①

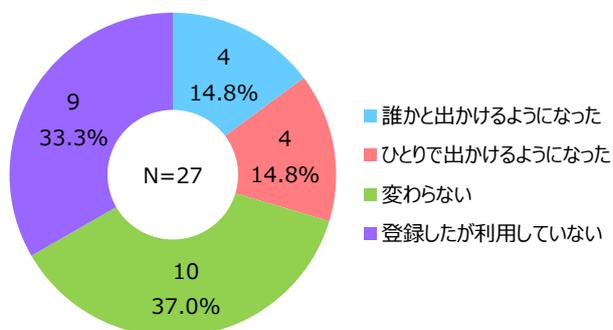
【補助制度を利用しないタクシーの利用頻度】



【路線バスの利用頻度】



【同行者の有無】



【家族や友人へ送迎依頼をする頻度】

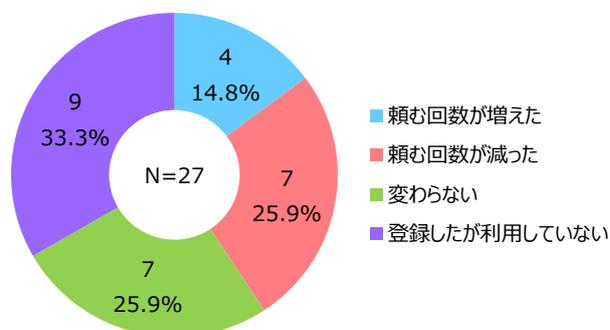


図 3-7 日常生活の変化②

表 3-4 その他の変化

	その他内容
1	今までは暖かかったので電動（シニアカー）で病院・買い物に行ったが、今後は寒いのでタクシーを利用したいと思っています。
2	病院の通院によかった。湯遊ランドに宿泊した。
3	電車、バスの時間に合わせることがなく、タクシー券で大変便利に利用しました。(11回)
4	用事があって立ち寄った時、帰りは自宅まで送ってもらう
5	年末の時ほど必要性があるのに。もう少し長くしてほしい。
6	家族に用事があって病院一人で行く時にと登録しましたが、都合が良かったので利用しませんでした。
7	1回も利用しなかったのですみません。

(7) 問7. タクシー補助制度利用後の運転免許証返納への考え方

- ・ 免許証返納への考え方は「既に運転免許証を返納した」と「そもそも運転免許証を持っていない」を除くと、「利用する前から返納するつもりはなく、現在も返納するつもりはない」が最も多く16.7%（6人）。
- ・ 免許返納への考え方の詳細な理由は「免許返納にお金がかかるため返納しない」「まだ自分で運転したい」などの回答がみられた。
- ・ 現在運転免許証を所持している方の免許返納意向について、今回の補助制度利用後に一部だが前向きな回答がみられた。

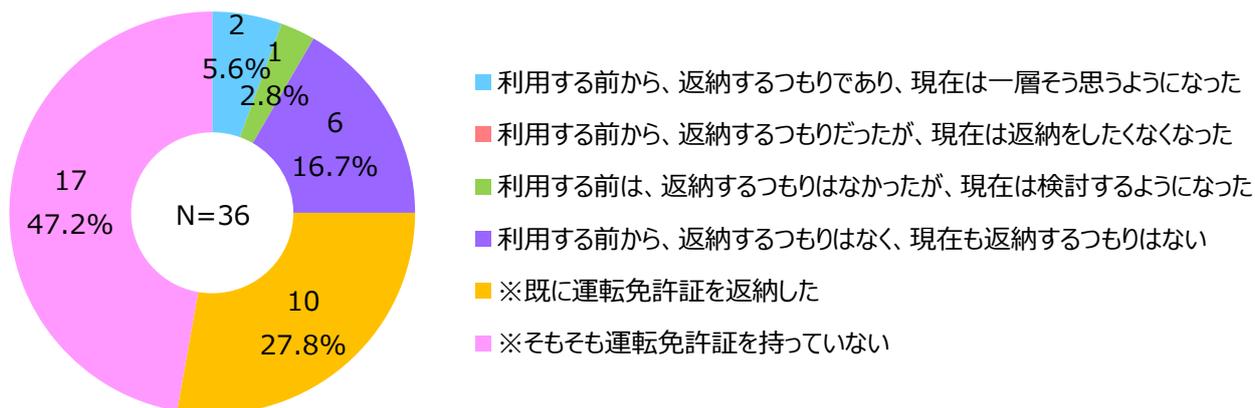


図3-8 免許返納への考え方

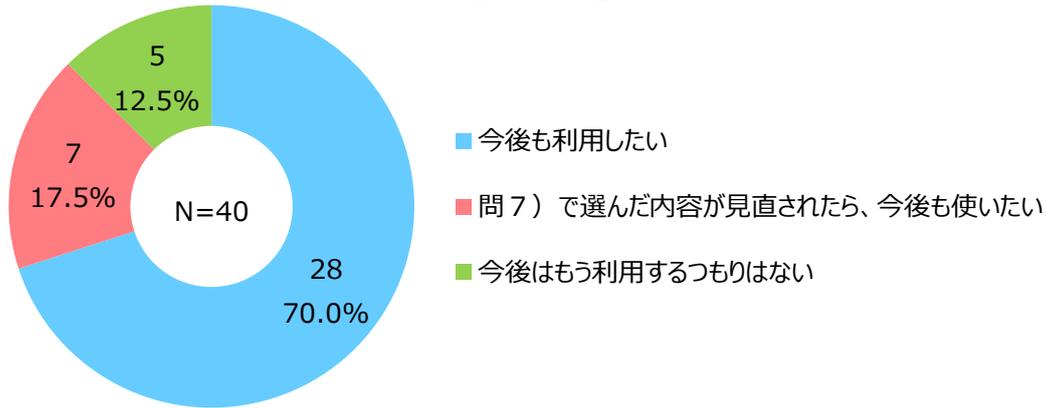
表3-5 免許返納への考え方の詳細な理由

詳細な理由	
【利用する前から、返納するつもりであり、現在は一層そう思うようになった】と回答された方	
1	高齢により
【利用する前から、返納するつもりはなく、現在も返納するつもりはない】と回答された方	
1	免許証返納は行ったが、お金がかかると言われ持っている。
2	今は自分で運転していなくても、体の状態がよくなったら、自分で運転したい。

(8) 問8. 本格化された場合の利用意向と利用しない理由

- ・ 利用意向は「今後も利用したい」が70.0% (28人)、「問7で選んだ内容が見直されたら、今後も使いたい」が17.5% (7人)、「今後はもう利用するつもりはない」が12.5% (5人)となっており、今後の利用に前向きな方が約9割を占める。
- ・ 利用しない理由は「やはり自家用車を運転することを選んでしまうから」が最も多く40.0% (2人)。
- ・ その他の利用したくない理由は「高齢で、家族が付き添うため必要ない」との回答がみられた。

【利用意向】



【利用しない理由】

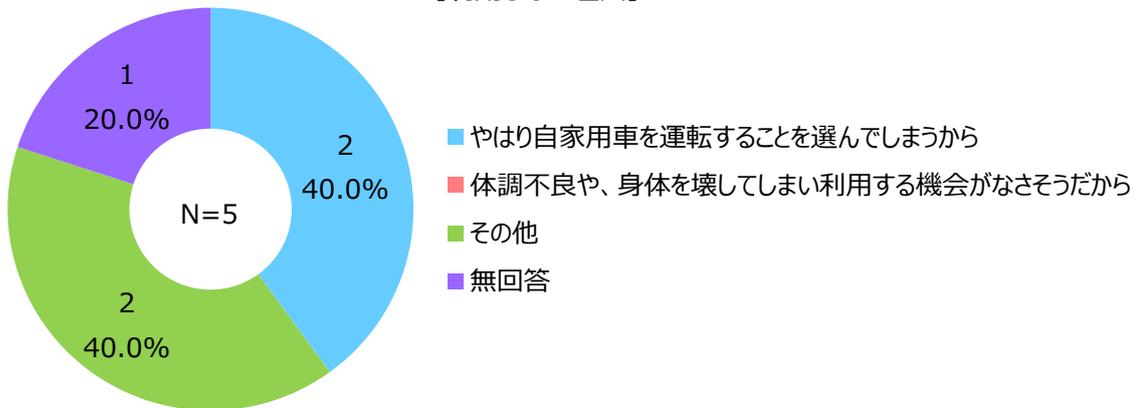


図3-9 対象者の属性

表3-6 その他の利用しない理由

	その他内容
1	高齢のため家族が付き添うため。

(9) 問9. タクシー補助制度や公共交通についての意見・要望

- ・「追加して欲しい内容」は「車椅子でも利用したい」「近隣の市町村までの移動に利用したい」「バスの少ない休み期間に利用したい」などの回答がみられた。
- ・「タクシー補助制度の継続願い」は「同じような形で今後も続けて欲しい」などの回答がみられた。
- ・「その他の内容」は「利用したいときに利用できるか不明」「タクシー補助制度以外の支援も必要」などの回答がみられた。
- ・「利用した感想」は「安く楽に病院に行くことができる」「タクシー券があると心強い」などの回答がみられた。

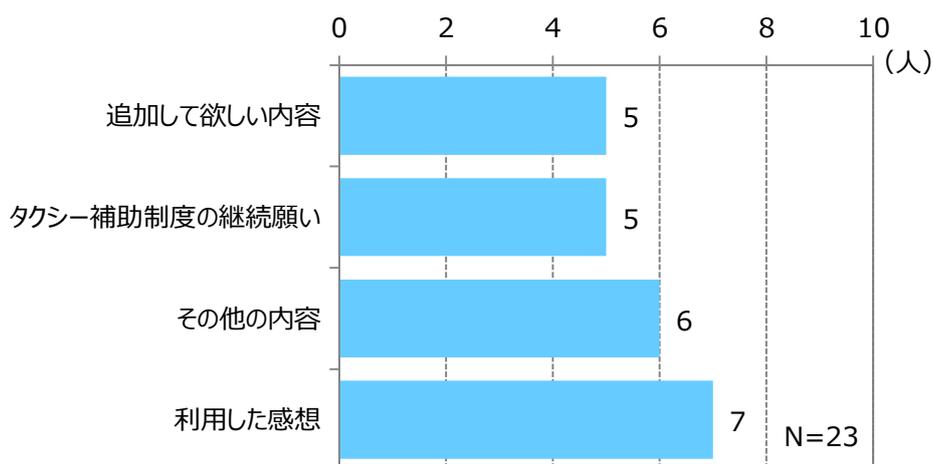


図 3 - 1 0 意見・要望の主な内容

表 3 - 7 意見・要望【追加して欲しい内容】

	内容
1	近隣の村、町にも行けるようにしたいです。
2	車椅子の方の利用ができないのが残念です。
3	身体障がい者は車いすが利用できるタクシーがほしい。
4	とてもありがたかったです。でも年末まではほしかったです。
5	利用できる回数を増やしてほしい。夏休み、冬休みなどはバスの時間が限られています。タクシー補助があると助かります。続けてほしい。

表 3 - 8 意見・要望【タクシー補助制度の継続願い】

	内容
1	今回のタクシー補助制度大変良かったと思います。今後も継続していただきたい。バス時間以外に何らかの方法を企画してもらいたい。
2	今後こうした制度を続けてほしいです。
3	今後も持続してほしいです。
4	タクシー補助制度は同じような形で続けてほしい。
5	非常に良い制度であると思います。今後も続けて欲しいです。

表 3-9 意見・要望【その他の内容】

	内容
1	・バスの本数が多いとよい。時間合わない。・補助制度はあった方がよい。バス停まで行くことが大変になるとも考えられるから。
2	高齢で家族が心配して付き添うので利用いたしません、同居者がいない場合は大変良い補助制度だと思います。
3	自分は 80 代に入ったら体の変化を考えて返納した。何事もない時に返納しようと思っていたので実行したわけだが、やはり不便を感じている。早く不便さになれなくちゃ。
4	タクシー補助制度について、利用したいときに利用できるのかは疑問
5	タクシー補助制度や公共交通の充実について前向きに考えることはとても大切なことだと思います。それとあわせて、買物弱者支援事業についても検討していくことが必要かと思ます。
6	補助制度は良いのでは。私はまだ利用はしていませんが、これから年齢が進んで行く自動車は乗れなくなるので、その時は利用したいと思います。

表 3-10 意見・要望【利用した感想】

	内容
1	ありがたいことです。
2	自由な時間に利用できるタクシーは便利で良い。家族の都合が合わない時に利用できて良かった。
3	タクシー代も安く体も楽に病院に行くことができます。
4	助かります
5	登録した時は利用しようとしたが、実際は面倒臭がって利用できなかった。
6	バスの本数が少ないので、いざと言う時のため、タクシー券があると心強いです。
7	目が悪く、歩くのも不自由なので、助かります。